

製品名: エタノールアミンキナーゼ 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10645**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	ETNK2
別名	ETNK2; EK12; HMFT1716; Ethanolamine kinase 2; EK1 2; Ethanolamine kinase-like protein
遺伝子 ID	55224.0
SwissProt ID	Q9NVF9
免疫原	抗血清はヒト EK12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

背景

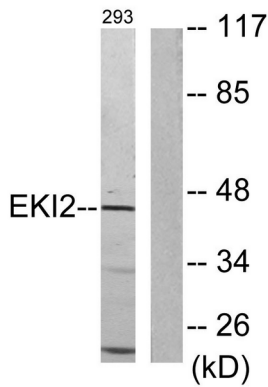
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、コリン / エタノールアミンキナーゼファミリーに属し、シチジン二リン酸 (CDP) エタノールアミン経路を介してホスファチジルエタノールアミン (PtdEtn) 生合成の第一段階を触媒します。選択的スプライシング

により、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年7月]、触媒活性: ATP + エタノールアミン = ADP + O-ホスホエタノールアミン、類似性: コリン / エタノールアミンキナーゼファミリーに属します。、

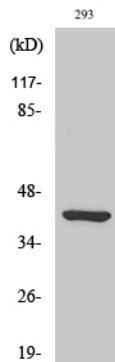
研究分野

グリセロリン脂質代謝;

画像データ



EK12 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



エタノールアミンキナーゼ 2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析